

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月20日

事業所名:飯塚市社会福祉協議会筑穂支所児童デイサービス(ぴよぴよ)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	2	職員の配置数は適切である		5	いろいろな障害のある子ども達なので、活動内容や支援方法など工夫しています。	基準は満たしていますが、個別支援計画に沿って児童の発達を十分に支援できるよう充実を図ります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	4		物理的・視覚的にわかりやすい環境となっているか、見直し、改善します。スケジュールや活動も個々の児童にとってわかりやすいか、検討し、改善します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	2	風通しや床暖房など、室内はある程度心地よい環境になっています。	園庭が無いため、多目的ホールを利用したり、近隣の保育所の園庭を使わせていただくなど、思いっきり体を動かせるような環境をつくります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		
	6	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		独自のアンケート調査等を行い、ご意見を業務改善につなげています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	5			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	外部から音楽療法や療育相談の先生に来てもらっています。	第三者による外部評価は実施していませんが、今後検討していきます。

	9	職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保している	5		業務の許す範囲で交替で研修に参加し、他職員への伝達研修を行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		全職員でその日の利用児童数や児童の状態を考慮してプログラムを立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5			
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	3	支援開始前に全職員が揃う時が無いため、連絡票等書面での確認をしています。	支援の内容は一週間単位で決め、事前に打ち合わせができるようにします。
	18	支援開始後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有している	2	3	支援終了後に全職員が揃う時が無いため、連絡票等書面での共有をしています。	支援終了後は送迎があり、全員が揃うことは難しいので、連絡ノートを活用して情報共有できるようにします。
	19	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	5		毎月、モニタリングを行っています。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもつともふさわしい者が参画している	5			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	3	在宅酸素など、保護者を通して連携していますが、不足する部分もあるかと思えます。	主治医や協力医療機関等との連絡体制を整えます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	こちらでの様子や留意点などの情報提供を行い、円滑に移行できるようにしています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	こちらでの様子や留意点などの情報提供を行い、円滑に移行できるようにしています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	子育て支援センターや地域のイベント(図書館まつりなど)に参加しています。ハロウィンなど地域の子育てサークルと一緒に高齢者施設や障害者の事業所を回って交流を深めています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	地域のネットワーク会議には参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		日常的には連絡帳を使って行う他、送迎時や電話等で話をしています。モニタリングや計画作成時のアセスメントなどを通じて、共通理解を持てるようにしています。	

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	確立したプログラムではありませんが、発達相談の先生に来ていただき、希望者は相談できるようにしています。母子通園時に、対応方法などについての助言を行っています。	
保護者への説明責任等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2	必要な助言や支援を求められた場合には、送迎時や連絡帳、又は電話などで対応しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催すること等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	親子活動の日の終了後など、交流できる部屋を準備しています。保護者が顔を合わせられる行事を計画していますが、保護者会等は実施していません。	親子活動の日に、保護者が興味を持ったり、保護者同士が交流できるような行事を計画し、連携を支援します。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	38	個人情報の取り扱いに十分注意している	5			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	見学者は積極的に受け入れています。		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	5			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	栄養士も一緒に保護者と協議し、できる範囲内で対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。